



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和5年9月

〒507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

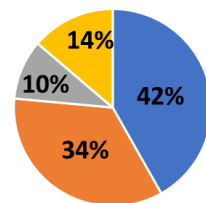
38日間という長い夏休みが終わりました。この38日の中で、子ども達はどんなことにチャレンジしたのでしょうか。保護者・地域の皆さんは、何かにチャレンジしましたか？

7月22日(土)「市之倉夏祭り」では、多くの子ども達が参加して、地域の祭りは大盛り上がりでした。子ども達が地域の行事に参加することも、1つのチャレンジだと思っています。自分がやりたいと願って挑戦することで、次への夢(目標)や挑戦が生まれますもんね。



挑戦できるために ～ 自己肯定感を高める ～

右のグラフは、2期のにこプロアンケート「自分のことが好きですか」の結果です。全ての質問の中で、「はい」が一番低い項目です。



バイリンガルスクール TLC for Kids 代表、船津徹氏は、“自己肯定感の感情を支えているのは、「自分はできる」という「根拠のない自信」である。「自分はできる」と信じている人は、逆境や困難に直面しても、チャレンジを繰り返し、成功体験を積み重ね、「根拠のない自信」を「根拠のある自信」に変えていくパワーをもっている。”と言っています。

自己肯定感を高めれば、たくましい子、チャレンジできる子を育てることができる！

自己肯定感を高めるためには、「根拠のない自信」を「根拠のある自信」に変えていけばいい！

日本では、「まわりに迷惑をかけないこと」を大切にする風習があります。この思いを大切にするあまり、子どもが「出る杭」にならないよう、大人が「子ども達の個性を抑え、集団に合うように行動をコントロールしている」ところがあるように感じます。学校も例外ではありません。

けれど、これを第一にしていたら、子ども達に、自発的な行動を通して「自分はできる！」という成功体験を積み重ねることとはできなくなってしまう…。



3期の目標は、「みんなで挑戦 ～目標に向かってみんな(学級)で挑戦しよう～」です。子ども達が、よりよいものを求めて、みんな(学級)で挑戦できるために、「まわりに迷惑をかけることは当たり前」と考え、大人や社会全体が、もう少しおらかな目で見守り、子ども達の自己肯定感を高めていきたいと思っています。

創立150周年記念事業「バルーンリリース」

～ ぼくの家で風船を拾いました ～



「風船を拾いました」と、長野県伊那市(3件)、群馬県藤岡市、栃木県鹿沼市からご連絡をいただきました。一番遠い栃木県鹿沼市は、市之倉小学校から約280km。みんなで飛ばした風船が、風に乗って山を越え川を渡り、こんなに遠くまで飛んでいくななんて素敵ですね。詳しいお手紙等はHPをご覧ください。

